

平成26年5月開催 議会報告会まとめ

《“市民が主役で、活発な議論をする、見える議会”を目指して》



湖西市議会

市議会では、市民への説明責任を果たすとともに、市民の意見を議会活動に反映させることを目的に、「市民が主役で、活発な議論をする、見える議会」を掲げ、昨年度に続き、2年目となる議会報告会を開催しました。

各会場の参加者から、多くの質問・要望をいただき、そして意見交換を行いましたので、その一部を掲載します。

貴重なご意見・ご要望については課題を整理し、今後の市議会の改善や政策提言につなげるなど、市民の意見を議会活動に反映させるための参考とさせていただきます。



目 次

	ページ
1 議会報告会開催日	1
2 報告内容	1
3 議会報告会参加者のアンケート結果	2
4 質疑応答や意見	
(1) 議会に関する質疑応答	9
(2) 行政に関する質疑応答	10
(3) 議会へのご意見	14
(4) 行政へのご意見	15

1 議会報告会開催日

開催日	会場	来場者数(人)
5月14日(水)	西部公民館	64
15日(木)	南部地区構造改善センター	50
18日(日)	健康福祉センター	49
21日(水)	新居地域センター	81
22日(木)	入出集落センター	63
合計		307

(開催時間：19時30分～21時)

2 報告内容

(1) 常任委員会報告

① 総務経済委員会

- ・危機管理について
- ・産業活性化について
- ・行財政改革について

② 福祉教育委員会

- ・市民会館の耐震補強について
- ・高齢者施策について
- ・湖西病院の課題について

③ 建設環境委員会

- ・道路整備について
- ・新所原駅周辺、新居関保存、衛生プラントなどの社会資本整備について

(2) 特別委員会（議会活性化特別委員会）の活動報告

- ・議会基本条例制定に向けた検討状況について

3 議会報告会参加者のアンケート結果

(アンケート回答者144人・未回答者163人)

問1 お住まい

湖西中学校区	35人	24.3%
岡崎中学校区	28人	19.4%
白須賀中学校区	19人	13.2%
鷺津中学校区	26人	18.1%
新居中学校区	34人	23.6%
市外	1人	0.7%
未回答	1人	0.7%

問2 性別

男	122人	84.7%
女	21人	14.6%
未回答	1人	0.7%

問3 年代

10代	0人	0.0%
20代	1人	0.7%
30代	2人	1.4%
40代	4人	2.8%
50代	29人	20.1%
60代	75人	52.1%
70代	30人	20.8%
80代以上	2人	1.4%
未回答	1人	0.7%

問4 本日の議会報告会をどのようにお感じになりましたか。

(1) 常任委員会報告についての説明はどうでしたか。

わかりやすかった	43人	29.9%
わかりにくかった	23人	16.0%
どちらともいえない	53人	36.8%
未回答	25人	17.3%

○「わかりにくかった（どのような点が）」と答えた方の意見

- ・もう少し要点を絞って説明した方が良いと思う。
- ・説明が早すぎる。配布資料が見にくい。
- ・説明はよかったが、配布資料が見にくい。パワーポイントがない説明はわかりにくい。
- ・市の事業の内容はわかりやすかったが、その事業に対して委員会として具体的にどの様にかかわってきたかがわかりにくかった。
- ・資料の文字写真が少し小さい。
- ・原稿を読むだけでわかりにくい。もっと具体的に話してほしい。
- ・総務経済委員会以外の報告は行政の報告をただけで、議会としての活動報告にはなっていない。

(2) 議会活性化特別委員会報告についての説明はどうでしたか。

わかりやすかった	47人	32.7%
わかりにくかった	14人	9.7%
どちらともいえない	50人	34.7%
未回答	33人	22.9%

○「わかりにくかった（どのような点が）」と答えた方の意見

- ・ある程度知っていないとわからない。
- ・活動事例での説明が欲しかった。
- ・もう少し具体的な事を話してほしい。
- ・事前に内容を知りたかった。
- ・現状の問題、今後の計画、将来の問題、長期の計画などに分け説明があればわかりやすい。

(3) 意見交換会についてどのように感じましたか。

わかりやすかった	29人	20.1%
わかりにくかった	15人	10.4%
どちらともいえない	52人	36.1%
未回答	48人	33.4%

○「わかりにくかった（どのような点が）」と答えた方の意見

- ・個別事項にどうしてもなってしまう。地元の意見は自治会活動でとりまとめを！要望に終始してしまう。
- ・声の大きな人の意見ばかり。
- ・質問者の発言がわかりにくいので、なかなか答弁が噛み合わない。
- ・行政と議会の立場の説明を始めにすること。
- ・個人的な意見が出しやすい雰囲気作りが必要。
- ・時間が少なかった。
- ・具体的な説明が少ない。他の市に視察に行った、勉強を行った、しかし何がどの様に勉強になったかがない。

(4) 次回の議会報告会には何を希望しますか。(具体的に記入)

- ・議会報告会も必要であるが、年度市政運営方針の説明を市当局から実施して欲しい。
- ・情報(資料)を事前にいただけないか。
- ・活発な意見交換ができるように工夫が必要。
- ・意見交換はテーマがあるから、分科会方式を取り入れたら具体的な意見も出ると思います。
- ・各地域で項目を絞っても良い。
- ・事業説明でなく、議会と行政がどう議論したか？
- ・テーマを絞った報告会。
- ・議決した事項の報告ではなく、議会または議員として何をしてきたのか、何を考えているのかの、報告を期待します。
- ・説明者は良くわかっている人、聞いている人はよくわからない人が多いことを前提に説明がほしい。

問5 議会に関する情報は、普段どのような方法で知りますか。(複数選択あり)

議会だより	108人
議会のホームページ	24人
ケーブルテレビの議会中継	8人
議会の傍聴	11人
インターネット放送	8人
新聞・テレビなどから	34人
議員や政党が発行する印刷物	41人
議員のブログ・ホームページ	3人
知らない	1人
未回答	13人

問6 議会のホームページをご覧になりますか。

見る	20人	13.9%
ときどき見る	41人	28.5%
見ない	43人	29.8%
未回答	40人	27.8%

○「見ない」と答えた方の理由

- ・インターネットを開いてまで見るだけの必要性を感じない。
- ・ホームページがあることを知らなかった。
- ・議会だよりを見るから。
- ・なかなか見る時間が無い。
- ・パソコンを使わない。
- ・よくわからない。何度見てもわからない。

問7 議会だよりについてうかがいます。

(1) 議会だよりをご覧になりますか。

見る	82人	56.9%
ときどき見る	27人	18.8%
見ない	4人	2.8%
未回答	31人	21.5%

○「見ない」と答えた方の理由

- ・どこにあるか知らない。
- ・計画内容と進行がわかると良い。
- ・作っている人の努力は感じます。しかし見ない人が多いのではないか。

(2) 議会だよりで気にしている内容はなんですか。(複数選択あり)

定例会概要報告	27人
本会議での質疑内容	61人
議案の賛否	18人
一般質問	51人
常任委員会活動報告	17人
議員の報酬	7人
その他	2人
未回答	8

(3) 議会だよりの印刷についてうかがいます。

見やすいカラー印刷がいい	46人	31.9%
少しでも経費削減ができるなら 白黒印刷でも構わない	55人	38.2%
未回答	43人	29.9%

問8 議会から知りたい情報がありましたらご記入ください。

- ・防災対策の強化、火災防止のための具体化（特に点検活動）。

- ・市の進捗と実施状況。
- ・自治会から出る要望に対してもっと内容の濃い検討内容や、今後の計画、又は、その他の改善方法の提案などを説明いただけるような報告機関は出来ないでしょうか？

問9 議会を傍聴したいと思いますか。

思う	51人	35.4%
思わない	6人	4.2%
どちらともいえない	38人	26.4%
未回答	49人	34.0%

○「思わない」と答えた方の理由

- ・ネット中継がある。
- ・議会中に一言いいたくなる。
- ・全ての内容について聞けるわけでもなく、我々の代表者に依頼をし、議論をしていただいているので、議員に任せます。

問10 議会との意見交換の場は必要と考えますか。

必要	80人	55.6%
必要ではない	3人	2.1%
どちらともいえない	17人	11.8%
未回答	44人	30.5%

○「必要ではない」と答えた方の理由

- ・聞く耳を持っていただけるなら必要。しかしそんな対応が出来る議会とは思えない。

問11 議会がみなさんの意見を聴くにはどのような方法がいいと考えますか。

- ・自治会の代表者との公開の会議をすべきでは。
- ・今回のような質疑の場を設けていく。
- ・今回のような議会報告会の回数を増やして欲しい。
- ・自治会単位など小規模での開催が良いと思う。
- ・テーマは事前に公表してほしい。

- ・年代別、若い人、女性だけへの説明会をしたらどうでしょう。子育てしている人たちだけとか。
- ・常任委員会ごとに市民との意見交換の場を持つ。
- ・議員は積極的に地区の会合やイベントに参加し、近況報告や意見交換をすべき。議員の顔が見えない。
- ・報告は簡潔に、意見交換の時間は多く。
- ・くるま座会のように、少人数の集まりでないと個人の本音は聞けないし発言も得られない。声の大きな人の意見ばかり聞かないでください。

問12 あなたは、議会に何を期待しますか。

- ・街の活性化。
- ・行財政改革の推進、地域活性化。
- ・議員のスキルアップ。
- ・湖西市の人口増加。
- ・客観的な討論。
- ・市民が暮らしの中で求める声を聴いて、行政に反映する。
- ・行政に対する厳しいチェック。
- ・防災、津波対策などについての取り組み状況を広報してほしい。
- ・市民の声を取り上げ市民に密着した議会。
- ・湖西が全国に知れるよう。
- ・将来を見据えた適切な対応をしてください。
- ・農地（パイロット）を住宅地にしてほしい。

問13 議会へのご意見等ご記入ください。

- ・もっと若年層に興味を持ってもらえるようにしてほしい。
- ・自然体での視野で判断するために、議員定数の削減。
- ・本会議の一般質問を質疑として、事前に調査して問題ある場合のみ議論する場としてほしい。
- ・文化公園西の土地を命山に。
- ・将来都市構想図より、湖西市地図の下半分が主になっており、入出地区は全く都市計画が無いように見られる。この図を見ても将来も「入出は不便な地域」に見える。
- ・報告会に参加して状況を知るだけでも、市の現状がよくわかります。一人でも多くの方に足を運んでもらう事が必要です。この場で意見を言うのはハードルが高いですが聴くだけでも意義があります。是非続けてください。
- ・市の運営には予算の限度があるので何もかも実施は出来ないことはわかるが、まず、どんな考えを、意見を、問題を、抱えているかを真剣に聞いてくれる議会の方法を教えてください。今回のような説明会では無理である。

4 質疑応答や意見

(1) 議会に関する質疑応答

① 議会報告会当日に回答したもの

問 新所原駅橋上化に伴う南北自由通路について、まちづくり委員会と議員との関係は？地域は駅ロータリーに一般車両駐車スペースを設けるように要望しているが、本日の報告内容は都市計画課の説明資料と同じ報告となっている。議会としてのチェック機能は働いているのか？

答 まちづくり委員会に議員は顧問として関与している。都市計画課との話し合いの中では、規制を掛けた中でうまく運用が出来るのではないかと話しており調整していく。県の公安委員会との絡みもあるので議会の対応としては市民の声に沿えるよう、発言していく。

問 行財政改革委員会最終提言に対する議会のチェック機能はどうか？一般質問はあったが、回答は抽象的であった。議会はもっと突っ込んだ対応をすべき。

答 昨年度から総務経済委員会のテーマとして活動している。事務事業評価、公有資産白書、人事評価について、カテゴリと方向性を定め、今年度末に政策提案を予定している。最終提言の扱いについては執行部、行政に責任がある。行政当局からは今年度「審議会」を発足して最終提言を含め行革を推進するよう聞いている。議会は進捗をフォローしている。

問 3月議会の予算修正の理由はなんであったのか、提案者に聞きたい。

答 核兵器禁止、平和の追求は変わらない思想であるが、その過程については様々に意見が分かれる点である。湖西市としてはもっと身近なところから手を付けるべきである。この議論は長くなるので、ここでの議論はここまでとし、場を改めて議論したい。

問 少子化対策についての議会としてのポイントは。

答 子育て支援のできる環境づくりを支援していく。進行中のこども子育て支援計画策定に、委員会としても勉強しながら応援していく。

問 議会活性化特別委員会での反問権の結論に至る経過は、どうであったのか。

答 反問権には、1つは質問の趣旨を確認するもの、2つ目は反論するものがある。今回は質問の内容を確認するまでとし、反論については、今後の研究課題とした。

問 議会だより編集委員会で視察研修している。読みやすい議会だよりに取り組むとあるが、163号のなかで、議員報酬等の掲載があるがわかりにくい。研修の成果として見やすくして出せなかったのか。時間的に無理だったのか。見やすさ、わかりやすさの判断は市民だと思いが。

答 議員の報酬等についての掲載は、表とともに計算式も載せてあり、現在の方法が最善と判断した。意見として受け止めさせていただく。

(2) 行政に関する質疑応答

① 議会報告会当日の質問に対して湖西市の担当部門から回答を得たもの

問 地震や津波災害に関して、計画中の避難地の収容力は十分に足りているのか？
避難路の設定は十分か？
現在の避難路は危険性が高いのではないか？

答 避難所の収容人数は、市の指定避難所合計で約23,000人に対し、避難者数は第4次地震被害想定では、最悪の場合、発災直後に約26,000人となっており、不足が見込まれます。被災者が多数のため避難所に避難しきれなくなった場合には、公園、広場を利用して屋外にテントを設営するなどして対応します。

避難路については、地震災害発生時においては、建物倒壊、山・崖崩れ及び延焼火災の危険性を、また、津波災害発生時においては、津波の浸水危険を的確に把握し、安全で効率的な避難活動を行う必要があります。

そのため、日ごろから防災マップなどを活用して避難路を確認し、自らの命や身体の安全確保に努めていただくようお願いします。

問 原発事故に際し、アメリカだと80km以内だと事故があれば避難が指示される。250km圏内では、警告がでる。湖西市は浜岡原発より58.7kmである。避難計画はどうなっているのか？

答 本市は、PAZ(注1)及びUPZ(注2)に含まれていないため、域外避難の必要はないという位置づけとなっていますが、浜岡原子力発電所での原子力緊急事態を想定し、万が一に備えておくことは必要なことと考えます。

そのため、平成25年3月に全面改訂した湖西市地域防災計画において、原子力災害対策編を新たに追加し、市民の生命、身体及び財産の保護を最優先に考え、風評被害を始めとする市民生活に与えるダメージを最小限に抑えるため、一般的な事項について定めています。

注1：PAZ（予防的防護措置を準備する区域：原子力施設から概ね半径5km）

注2：UPZ（緊急時防護措置を準備する区域：原子力施設から概ね半径30km、静岡県では半径31kmに設定）

問 浜名バイパスの流入点は、今の形が完成形なのか。取り付け道路の合流点での危険性が高いのではないか。

答 平成25年度に完成した浜名バイパス新居弁天ICの道路形状は、旧新居町時代からの計画道路であり、現在の形状で完成形となります。

市では、今後、道路利用者の更なる利便性を高めると共に、新居地区の幹線道路ネットワーク構築のため、新居弁天IC出入口部を東西に結ぶ道路（松山弁天線：わんぱくランド西側交差点～住吉公民館北側交差点付近）の整備を進めていきたいと考えていますので、今後も事業へのご理解及びご協力をお願いします。

問 新居図書館の駐車場が手狭になっている。拡大できないか？

答 通常の図書館、公園利用においては、駐車場が不足しているとは考えていませんので、拡大する予定はありません。イベント等で駐車場が不足する場合は、他の場所を指定してご案内するなどに対応していきます。

② 議会報告会当日に回答したもの

問 地震津波対策について湖西市では他自治体で行われている地震津波対策基金は無いのか？

答 現在、湖西市には地震津波対策のための基金は無い。議員も一般質問で提案している。当局からは今の予算の中で対応すると聞いている。

問 防災対策について、災害を知らせる同報無線がハウリングして聞こえない。ホーンアレイスピーカーの現地テストを行い、結果によっては戸別受信機の導入など改善してほしい。

答 市は同報無線整備の優先順位をつけ、順次「ホーンアレイスピーカー」に切り替えている。議会としても、質問者の言うように戸別受信機導入など、多重化を求めている。

問 公共交通について白須賀地区は陸の孤島。こーちゃんバスを利用している。費用と利用について将来をどう考えているか。

答 新所入出地区のように民間バスがなくなる地区もある。バスについてはいろいろな意見が出ており、それらを総合して見直しを繰り返していく予定である。

問 病院について黒字化できない理由は何か。医師不足になるとなぜ赤字となるか。療養型病床の対象者は？

答 医師一人当たりの医業収入は約1億円と言われており、医師の数は病院経営の重要な要素である。湖西病院では最高26名いた医師が、国の制度改革等により、現在18名となっている（最少時は15名）。このため病床利用率も50%以下になり、多くの自治体病院と同様に赤字体質となっている。

現在の湖西病院は、急性期対応の病床となっている。浜名病院同様、高齢化社会を視野に、介護も可能にする療養型病床の開設を目指している。療養型病床の対象者は長期にわたる療養が必要な方となる。

問 病院の今後のあり方について、療養型に向かうと市民病院の役割が不十分になる。今後のあり方を伺う。

答 現在の機能を低下させるものではなく、療養型病床を導入することにより今後、不足する分野を充実させることとなる。

問 湖西病院の課題の中で経営改善策に医師不足による収入減が上げられている。経営改善策など中身が見えないので説明を。

答 医師不足のことは周知のとおりであり、浜松医大に医師の派遣等お願いして

いるが、医局に残る医師がいない状態で、どこの病院も困っている状況である。現在、県も取り組んでいる医師の育成制度の成果に期待している。

湖西市としても医師の確保のため奨学金制度を定め、医師確保に努めている。病院としては、25年度からバランススコアカード制度導入など内部改革も進めている

問 地震対策について、津波避難地区の住宅建設の許可や高台移転等の具体的なシミュレーションをもっているのか説明願いたい。

答 高台移転、建築についての具体策は定められていない。議会として取り組みについての提言はしていく。

問 市民会館の改修について、5年もかけてやるのか。市民にとって市民会館の必要性は大変重要と考える。かかる金額がわかっているのなら、工面する方法を考えしっかり自覚して事業を進めるべきと思うが？

答 大半の議員が同じような意見と認識している。
しかし、現在、継続的に進められている大型事業があり、その事業を中断してまで市民会館問題に取り組めない状況である。出来るだけ前倒しを図れるよう要望、要求していく。

問 農業の活性化とブランド展開について、湖西市としてはどのような展開をしているか？

答 行政として具体的なものは確認できていない。委員会として注目しているのは、この地域の天候特性を生かしたオリーブの栽培と商品化を展開しているケースなどがある。みかんに代わる次のブランド商品を模索しようとする動きも見え始めている。

問 遠鉄バスの浜名線が9月で廃止となる。対応はどの様になっているのか？

答 9月以降は、遠鉄系列の会社の自主運行バスを考えている。来年3月からは、コーちゃんバスも含め検討している。

問 利木のカーブの工事の見通しは。

答 当該箇所は県施工の工事である。天竜浜名湖鉄道橋梁工事の起工式は行われ、橋梁完成は平成27年10月頃と聞いているが、道路全体の工事見通しははっきり示されていない。

(3) 議会への要望、意見等

- 議会報告会の内容理解を深めるために、意見交換のテーマは事前に「議会だより」等で内容を告知して欲しい。
- ユーストリームでオンタイムで議会傍聴が出来るので期待している。
- 掛川市は湖西市の倍の人口規模で議員24名で運営されている。湖西市はもっと議員数を減らせないか。
- 高齢者対策として、昨年11月「おしゃべりサロン」を立上げ、1回/月活動している。運営費用は手弁当で活動している。社協が音頭を取ってサポートしてくれているが、議会もこのような地域活動に目を向け、理解してほしい。
- 議会基本条例制定については、当局との議論が一方通行とならないよう、反問権を検討してほしい。
- 財政調整基金が減り借金が増えている中で、意見交換のテーマに行財政改革が入っていなかった。入れるべきではないか。
- 総務経済委員会の行財政改革への取り組みで、26年度の事務事業評価について積極的に取り組んでほしい。

(4) 行政への要望、意見等

- 新所原駅橋上化に伴い、南口に「トイレ」を設置して欲しい。
- 公共下水道の計画が説明から30年経っても下水道が出来ていない。
- 地震・津波について、震災時の福祉避難所は、浜名特別支援学校になっている。おぼとから、支援学校まで歩いてみたが、途中がけ崩れや津波浸水箇所など、危険なところが沢山ある。支援学校の裏側の山を切り開いて避難路を作ってほしい。

- 護岸工事などに際し、緑や歴史的環境を残してもらえるよう配慮してほしい。
- 文化公園西の空き地を売却するような話を聞いているが、慎重に進めてほしい。
- 「広報こさい」6月号では情報伝達機器整備5カ所設定であった。日常における同報無線が聞こえないことから、充分検討してもらい緊急に整備してほしい。